

# ネイチャーウォッチングだより

令和6年 10月 15日(火)

愛知教育文化振興会

協力:岡崎女子大学・短期大学

10月13日(日)、Bグループの第2回ネイチャーウォッチングを豊川市の東三河ふるさと公園で開催しました。御油町の自然豊かで広大な丘陵地に、庭園や山野草園、展望ツツジ園など多くの観察スポットがある県営の施設です。休日ということもあり、快晴のもと、朝早くからウォーキングや自然観察などに多くの人が訪れていました。

今回の「里山の生き物ウォッチング」では、23組69名の親子の皆さんが、遊歩道を散策しながら自然観察を楽しみました。講師は元豊川市立音羽中学校長の藤原優年先生です。秋の園内で見られる動植物や地質などを、丁寧に説明していただきました。

散策を始めてまず、木々の間に張られたにクモの巣の前でジョロウグモの解説がありました。「大きいのがメスで、こっちの小さい方がオスです」、「クモの巣にはねばねばの横糸と、ねばねばのない縦糸があるのです。クモはちゃんと縦糸だけ使って歩くからくっつかないのです」など、クモの巣の秘密を知ることができました。

遊歩道のところどころで、シダの仲間が多く観察できます。シダには、ウラボシやゼンマイなどいろいろな種類があることを教えていただきました。また、岩場が露出した場所では「この地域は、恐竜の



藤原先生の説明を聞く参加者家族

時代にできた地層が元になっていて、火山活動の熱や圧力で変成岩になったのです」との説明があり、地球のダイナミックな活動を垣間見たような思いでした。

散策途中、子どもたちは、いろいろな生き物を見つけ、藤原先生に質問してました。先生は、ウラボシジミは成虫でヤマトジミは卵で冬を越すこ



「この辺りの岩は領家変成岩といいます」

と、オオセンチコガネはフンコロガシの仲間であることなど、丁寧に説明されていました。

ゴールの山頂から見た三河湾や、渥美半島などの景色は最高でした。

最後に参加者の声の一部を紹介します。



参加家族、全員集合！

近くに自然とふれ合える公園があり、とっても充実した半日になりました。子どもたちにも自然の大切さが伝わりよい体験ができました(父)

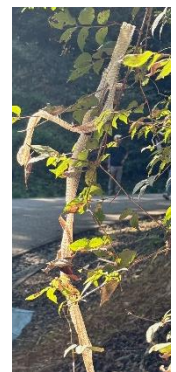
家族揃って体力がないことも実感しながらの参加となりました。知らないことについて知ることもでき、蛇の抜け殻を間近に見た子どもの目はキラキラしてました。虫を捕まえることができ、子どもは満足そうでした。(親)

いろいろな山の植物、虫のことがわかって知れて楽しかった。(小6)

すごく疲れたけど、自然のことがわかって楽しかった。今まで知らないことがわかって、勉強になりました。(小3)

鳥の姿はあまり見れず残念だったけど、里山は楽しかった。(父)

自然のことを知れてよかった。またこの公園に来たいと思います。藤原先生の説明も丁寧でわかりやすく、勉強になりました。(母)



蛇の抜け殻も見つかりました！